学校番号	T0104

令和３年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ（通信）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂　新数学Ⅱ（東京書籍）						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次までで学習した内容を確認し，それを基に数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めます。授業プリントや問題プリントを整理し，各自復習等に用いましょう。授業プリントで学習した内容を問題プリントで確認し、知識の定着を図ります。通信ではレポートが非常に重要です。毎回しっかりと取り組みましょう。遅刻や欠課をせずに，しっかりと出席しましょう。

２　学習の到達目標

指数関数及び対数関数について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用するようになりましょう。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して、指数関数・対数関数の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする.	数学的活動を通して、指数関数・対数関数の考えにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている.	指数関数・対数関数の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている.	指数関数･対数関数の考えにおける基本的な概念、原理･法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている.
評価方法	レポート、定期考査等	定期考査、レポート	定期考査、レポート	定期考査、レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期</td><td rowspan="3">指数関数</td><td>指数の拡張</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="3">a: 指数関数に関心を持ち、具体的事象の考察に進んで活用しようとする。
b: 指数関数を用いて、具体的事象を考察することができる。
c: 指数の性質や、それらの関数のグラフを用いて、方程式・不等式の解や自然数の桁数などを求めることができる。
d: 対数の性質や、関数のグラフの特徴を理解している。</td><td rowspan="3">レポート、定期考査</td></tr>
<tr><td>累乗根</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>指数関数とそのグラフ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">後期</td><td rowspan="4">対数関数</td><td>対数</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="4">a: 対数関数に関心を持ち、具体的事象の考察に進んで活用しようとする。
b: 対数関数を用いて、具体的事象を考察することができる。
c: 対数の性質や、それらの関数のグラフを用いて、方程式・不等式の解や自然数の桁数などを求めることができる。
d: 対数の性質や、関数のグラフの特徴を理解している。</td><td rowspan="4">レポート、定期考査</td></tr>
<tr><td>対数の性質</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>対数関数とそのグラフ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>常用対数</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。